

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成 25 年 1 月 24 日 (19:00~20:00)		
実施場所	下条公民館 2 階 講堂	参加人数	14 人
参加対象	都市との交流を進める会「四季の風」 会長：山田 慎一 他 13 名		
市側の出席者	市長 企画政策課主任		
懇談内容	<p><b>1. 発言者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日野市のスノーマンとの交流が、雪像づくりを発端に 22 年目になる。昨年は、日野社会教育センターにご尽力いただき、子どもたちがカナダ留学にも参加した。親しくお付き合いをされており、一年の内に何回も下条を訪れてくれる人もいる。今後も交流を続けていけたらと考えている。</li> </ul> <p><b>A. 市長</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本当にありがたい交流であると思う。誰とでも交流できれば良いのかもしれないが、やはり特別な関係を築けたところとの交流を深めていくことが大事であると思う。中里地域では、沖縄県の久米島や新座市とも交流をしている。市の中でも付き合いが深まっている交流があり、防災協定を締結している自治体もある。</li> </ul> <p><b>2. 発言者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この地域では、中学生が海外に行くという経験はなかなかできないことであると思う。そういった環境の中で、海外に行って不自由なことを経験することで日本の良さや日々の生活の良さが分かったことと思う。</li> </ul> <p><b>A. 市長</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カナダ留学を経験することで、日本の良さや違いが分かってくれるだけでありがたいことであると思う。</li> </ul> <p><b>3. 発言者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交流事業の実施に欠かせない「交通手段」について市からも支援をいただきたい。</li> </ul> <p><b>A. 市長</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先ほども申し上げたが、全ての人と交流ができれば良いが、それはなかなか難しいので、特別な関係を築いたところとの関係を深めていこうという方針である。長い歴史のある交流でもあるので、支援していきたいと思っている。</li> </ul> <p><b>4. 発言者</b></p>		

- ・幹線道路及び水口ー甘日城線、新光寺ー北原線の冬期の除雪についてうかがいたい。

**A. 市長**

- ・現在協議していることは、新光寺ー北原線を、飛渡川を越して延長をする方法が良いのか、それとも幹線道路を除雪する方が良いのか、いずれかを検討している。今のところは、除雪をした方が良いのではないかという意見である。難しいのは、太子堂の接続部に信号機を付けられるか。それができれば、直線の除雪になる。場合によっては、一方通行ということもあり得る。まだ現段階では判断できないが検討は進めている。

**5. 発言者**

- ・中峰スキー場は閉鎖したが、ロッジは日野スノーマンや大学の調査団などに活用していただいている。施設の改築が必要との話もあることから、費用について市から支援いただけたらと思っている。

**6. 発言者（関連質問）**

- ・スキー場の閉鎖を受けて、振興会においても利活用について検討委員会を立ち上げるので市とも協議したい。ロッジは活動の拠点でもあるので、スキー場の再利用も含めて地元でも考えたい。

**A. 市長**

- ・まずは、地元の皆さんで方向性を決めていただければと思う。

**7. 発言者**

- ・日野スノーマンとの交流はこれまでは「教育」という分野で行ってきたが、一昨年くらいから東下組を中心にお米の交流を始めた。個人ではなく、東下組生産センターという団体による物産交流である。

**A. 市長**

- ・お米を通じた交流は、良いことだと思う。